

大いなる飛躍へ

 JA上川中央

初春

2012
NO.46

発行・上川中央農業協同組合
愛別町本町125

Tel (01658) 6-5311

URL <http://www.ja-kamikawa.or.jp/>

編集・営農販売課





新年にあたり

上川中央農業協同組合
代表理事組合長 新井光雄

新年明けましておめでとございます。
組合員の皆様には、輝かしい新年をご家族ともどもお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、春先の低温・降雨に見舞われ心配された生育も6月以降回復傾向となり農産物については総じて豊穰の秋となりました。

しかしながら、昨年3月11日に発生した東日本大震災による福島原発事故により、食品の放射能基準値を超える数値が次々に明らかになるなど農畜産物の需給・価格動向に大きな影響を受け厳しい年でありました。

また、野田総理は昨年11月のAPECでTPPへの交渉参加を表明し、まさに国のあるべき姿を問う「この国のかたち」の行方が

憂慮される事態であり、農業をはじめ金融・保険・医療・公共事業など幅広い分野に悪影響が懸念されており、JAグループ北海道としては『オール北海道』の意思を集を一層図りながら強力な運動展開を図って参ります。

さて、昨年度の事業推進にあたっては、地域農業振興計画と中期3カ年経営計画を検証しつつ農業経営の充実と農協経営の改善を着実に進めるため具体的な事業計画を明確にして、農業経営の生産向上と担い手確保・育成が図られる等、地域農業の持続的発展のため実践活動を通じて信頼されるJAづくりを基本に取り組んで参りました。

特に「地域資源のフル活用地域循環型農業」を機軸として社会情

勢の変化に柔軟且つ俊敏に対応できる農業生産基盤の構築を進めて参ります。

本年も組合員皆様のご理解のもと、地域農業の将来あるべき姿をめざし、より一層信頼される『地域に根ざしたJA・信頼と絆』の実践に向け役員一丸となって取り組んで参ります。

最後に組合員並びにご家族様方のご健勝と、本年が豊穰の出来秋を迎えることが出来ませう様、心からご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



謹賀新年

代表理事組合長	新井光雄
専務理事	高井優
理事	野間井和義
理事	佐橋正清
理事	辰巳眞
理事	橋本洋一
理事	久保田幸夫
理事	久米啓一
理事	小西優二
信用担当理事	松嶋光章
兼金融共済課長	
代表 監事	多羽田光雄
監事	関行男
員外 監事	奥山勲
参事	水谷辰彦
内部監査室長	奥智尚
総務課長	奥山春彦
営農販売課長	木村悦明
購買経済課長	鈴木隆之
生活課長	川村都子
上川支所長	端場誠二
他職員一同	



「新年にあたり」

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔 章

組合員をはじめJA役職員の皆様方が、希望に満ちた平成24年の新春をご家族とともに迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先には低温・日照不足等による生育の遅れが心配されましたが6月には天候が回復傾向に向かい、降雪被害や台風による被害などによって地域や作目による差はあるものの、組合員・JAの努力が報われ総体的には平年に近い出来秋となりました。

さて、東日本大震災から9カ月以上が経過しましたが、復興への道筋は決して容易なものとはなっており、また原発事故の収束にも目途が立たず、全国の農業者や消費者は不安な日々を抱えています。JAグループは、今後とも食料供給基地である被災地の復興に向けてあらゆる支援を続けていくこと、政府の指導のもとで安全・

安心な農畜産物を安定的に消費者の皆様にお届けすることに、今こそ協同組合の精神である「絆」を大切にすする価値観のもとで、総力を挙げて取り組むことが必要です。

また、環太平洋連携協定（TPP）に關しJAグループ北海道は、与野党国会議員に対する要請を行ない、昨年11月4日に札幌市で「ともに考えよう」とこの国のかたち「TPP交渉問題を考える道民集会」を開催しました。野田首相がAPECに向け「交渉参加に向けて関係各国との協議を開始し、

各国が我が国に求めるものについて、さらなる情報収集に努め、十分な国民的な議論を経た上で、あくまで国益の視点に立ってTPPについての結論を得る」との方針を表明したことは、議論が全く成熟していない段階での見切り発車の何ものでもなく、JAグループ北海道として強く抗議しました。この問題は、まさに「この国の

かたち」のゆくえが憂慮される事態であり、組合員の営農と生活を守るためにも政府の暴走を断じて許すことはできません。お金を出せば食料を確保できる時代ではなく、経済成長と引き替えに国民生活の安全・安心を損なう国政はあってはなりません。今後ともTPP交渉参加の正式表明を断固阻止するため、国民的理解の醸成に向け北海道の総力を挙げて強力な運動を展開してまいります。

さて、本年は「協同の力で築く「あすの食をささえる北海道農業」を主題に開催した第26回JA北海道大会決議事項の実践最終年を迎えます。大会決議事項の「北海道農業の潜在能力のフル発揮への挑戦」は、国民の命の根源である食料生産を担う組合員が安心して農業経営に従事し、さらなるステップアップを図り、食料自給率の向上に寄与し安全・安心な農畜産物の安定供給を通じて、消費

者の皆さんに北海道農業を応援していただくための取り組みです。JA経営では「協同と信頼の絆で築く新時代のJA」の実践によって、経営の健全化と強靱な経営基盤を確立し、組合員の期待に応じられる高度な事業機能を有するJAとなることをめざすものであります。また、国連は平成24年を国際協同組合年とすることを宣言しました。「協同組合がよりよい社会を築きます」のスローガンのもと、協同組合の社会的役割意義をアピールしていきましょう。

今後、景気の低迷や農業貿易交渉等の進展によっては、農業への影響が大きく懸念されますが、全道の組合員の皆様をはじめJA役員が「一人は万人のために、万人は一人のために」という協同組合の理念をよりどころにして、JAへの結集を強め協同運動を強力に展開することにより、この苦境を打開し未来を切り開くものと確信しております。

本年も災害がなく、豊穡の出来秋を迎えることができ、北海道農業の発展と成長をめざし飛躍の年となりますよう心から祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶いたします。

JA上川中央 青年部

年頭の御挨拶



愛別支部長 中田尚靖

新年明けましておめでとございます。

組合員の皆様と共に、新年を迎えることができたことを、心からお慶び申し上げます。

皆様には、日頃より青年部活動に対し、多くのご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、東日本大震災では、マグニチュード9.0を記録、東北地方の太平洋側沿岸部に津波による多大なる被害をもたらし、被災者10

万人、死者・行方不明者2万人を超える大惨事となりました。

震災に伴い東北地方を中心に交通網が麻痺し、資材確保が心配される、ということもございました。

また、福島第一原発で事故がおき、今もなお避難されている方が多数おられます。

放射能という目に見えない敵は、まだしばらくは、風評被害などにかたちを変えて我々に降り掛かって来るのではないかと心配しております。

農協等の各関係機関とも協力し情報を集め、消費者に安心してもらえよう、に今後も努力していかなくてはなりません。

日本の首相は、APECにおいてTPPへ参加を表明致しました。

これからの日本の未来を左右する重大な決定です。これからの農業の向かうべき方向、社会保障の問題、経済の発展などいろいろな問題を抱えているにも関わらず、政府は方向性も示さず、十分な議論もないままに決めてしまいました。

それに伴い、更なるコスト削減、生産性の向上、品質管理など消費動向に合わせた柔軟な対応が求められてくると思います。

昨年の当青年部活動といたしましては、愛別神社祭における神輿担ぎ、夏祭り、きのこの里フェスティバルなどの町内行事へ参加致しました。また、青年部上川支部との交流を兼ねた道内研修では、恵庭の(有)余湖農園と滝川の(株)楽食食品に視察に行きました。

初の試みとして、旭川の食べマルシエに参加してきのご饅頭の販売をしてみました。

今年は、これらの活動を中心に町内外への地域ブランドのPRも積極的にやっていければと考えています。

最後になりましたが、部員一同並びに、組合員関係各位には一層のご指導ご協力を頂ますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭の御挨拶



上川支部長 清野佳朗

新年あけましておめでとございます。

組合員の皆様とともに新しい年を迎えることができましたことを心からうれしく思います。

皆様には、日頃から青年部活動に対し、深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、3月の東日本大震災の発生とTPPの問題が非常に大きな出来事で、今後とも継続的に取り組んで行かなければならないと考えています。

昨年は春先の雹害や夏の集中豪雨などの異常気象が続き、生産者にとって厳しい一年となりました。水稲と畑作

においては平年を上回る作柄でしたが、畜産においては、配合飼料の高止まりと枝肉相場の低迷が続いており、厳しい状況が続いています。

青年部活動を振り返りますと、夏場に愛別支部との合同視察研修を行い、収穫感謝祭には、JA女性部、フレッシュミズ、青年部愛別支部、関係機関各位の方々への出席を盛大に開催することができました。

今年度の青年部活動におきましても昨年同様、青年部愛別支部との合同視察研修や交流を通して、支部間の連携

強化を図り、今まで以上に積極的な活動をしたと考えております。

また、震災の影響やTPPなど非常に厳しい問題が山積みになっていきますが、このような深刻なときだからこそ、青年部、女性部、組合員、関係機関各位の皆が一致団結し、この農業危機を乗り越えて行きたいと思っております。

最後に、部員一同ならびに組合員、関係機関各位の一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

JA上川中央 女性部



愛別支部長 藤原 幸子

年頭の御挨拶

新年あけましておめでとうございませう。女性部の皆様には、「ご家族お揃いで、健やかに、賑やかに新春をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。また、常日頃の女性部活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。」

「ことわざに「一年の計は元日にあり」とありますが、物事をなすには初めにきちんとして計画を立てなければいけないという教えです。その年の計画は一番初めの一月一日に立てるのが良いということから、元々は「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり」といったそうです。

家計簿や経営簿を目の前にして「今年こそは」と思っているもの。人生はそう予定通りにはいかない事が多いものです。

昨年3月11日、東日本大震災により地震と津波が襲った被災地では、また人々の暮らしが落ち着きを取り戻せていないばかりでなく、身元が判明していない方もおられます。さらに、この大震災を起因とする原子力発電所の事故による放射線などの核物質問題は、さらに被害を大きくさせました。そして、多量の浸水した海水は塩害をもたらしました。これからも復興、回復にはまだまだ時間がかかりそうです。

その様な中で、「続けられること」の大切さと、有難さに改めて感謝しております。農業等の職業が続けられるそこに家族と住むことができる、生産し生活していくことができる、今まで当たり前だと思っていた事が実はそうではないということに気づかされた一年でした。

TPPに関して総理大臣は「TPP交渉参加に向けて関係国との協議に入る」と方針を表明したことは、ただただ残念であり、憤りに堪えず、断固抗議しなければなりません。私たちJA女性部員は、農業者であり、消費者であり、家庭を守る母でもあります。「食」を「暮らし」を「いのち」を外国に委ねることはできません。未来に生きる子供たちに、この素晴らしい日本の伝統や風景及び文化を引き継ぐためにも、日本全国で連携を一層強め、TPP交渉参加阻止に向け

た運動に取り組まなければなりません。この運動が単なる組織団体活動で終えるのではなく、広く消費者やお母さん達との連帯の輪を広げていけるよう私たちもしっかりと確認し合い、学習していくことも必要だと思っています。

結びに、各地区女性部の益々のご発展と、本年がお一人お一人にとつて素晴らしい一年となりますよう、心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



上川支部長 辰巳 明美

年頭の御挨拶

新年あけましておめでとうございませう。こうして皆様とともに新たな一年を無事に迎えることができ、とても嬉しく思います。

振り返れば2011年は本当に大変な一年でありました。忘れもしない3月11日の東日本大震災。地震と津波によって多くのものを失った被災地の悲劇にとどまらず、福島原発から漏出し

た放射能物質は全国に広まりました。また、放射能だけでなく、我が国のTPP交渉参加問題も含めて、二重の意味で日本の食の安心・安全とそのあり方を揺るがせた一年でした。

こうして新たな年を迎えることはできしましたが、被災地は依然としてかつての暮らしを取り戻すには至らない状況であり、放射能物質が消えることはありません。また、TPP交渉参加に

ついて、予断を許さない状況は変わっていません。一年の計は元日にあり、と言いますが、とりわけ今年は、昨年の問題について振り返り、改めてそれらと向き合ったうえで何をすべきか考え、行動することが求められる一年になるのではないのでしょうか。

これらの問題と向き合うには、個人の努力とともに、集団の力、とりわけ「助け合い」を重視する女性部の組織力はとても重要に思います。そして何より、若い世代の方を交え

「最大のピンチこそ最大のチャンスである」と言われますように、昨年の危機を、今年はチャンスととらえて、より一層積極的な女性部活動を展開できるよう、精進して参りたいと思っております。

改めまして各関係機関の皆様から、より一層のご協力をお願いするとともに、些末ではありますが新年のご挨拶と代えさせていただきます。ありがとうございます。

**JA青年部上川支部
フレッシュユミズ
合同収穫感謝祭**

11月25日、上川町明石調理部においてJA青年部上川支部・フレッシュユミズ合同収穫感謝祭が行われました。

この行事は、毎年秋の実りに感謝し、次年度の出来秋を祈願する行事で、青年部・フレッシュユミズ部員の他各関連機関から総勢30名が参加し盛大に行われました。

開会にあたり、清野部長から「東日本大震災の発生や、TPPの問題など非常に大きな出来事がありました。今後も皆が一致団結し、乗り越えて行きたい」と挨拶を頂き、終始和やかな雰囲気の中で、交流を深めながら来年の出来秋を祈願しました。



**愛別支部
第3回元気な食を
いただきますinあいべつ**

12月2日、JA上川中央本所3階大会議室において、JA上川中央女性部愛別支部の部員交流を目的とした「第3回元気な食をいただきますinあいべつ」が開催されました。

当日は、43名の女性部員の他に、当JA新井組合長、愛別町矢部町長も招待され、和やかな雰囲気でした。

女性部で、きのごこわ、きのこ汁の2品を作り、各地区女性部より2〜3品の料理を持ち寄って頂き、22品目というたくさんの品数になりました。お料理のエピソードや紹介を聞きながら料理を堪能しました。その後のお楽しみ会では、参加者が1人1つずつ持ち寄った品を景品とし、ビンゴゲームでの景品交換をしました。たくさん景品に迷いながら選ぶ方もいて、大盛況のうちに終了致しました。次年度も開催を予定しておりますので、たくさん女性部員の皆さんの参加を心よりお待ちしております。



**JA上川中央女性部
料理&
ミサンガ作り講習会**

12月3日、上川町かみんぐホールにおいて、料理&ミサンガ作り講習会を部員35名が参加し開催されました。

午前の料理講習の講師は、ショイライフに商品を掲載している大興産業㈱の小田さんと星野物産㈱の正田さんで、酢と米粉ミックスを使ったスモークサーモン寿司とカレー風味のマリネサラダを小田さんより教わり、続いて正田さんから焼きりんごケーキとフライパンで作るピザの合わせて4品を教わりました。

午後からは、部員の辰巳晃由さんに講師になって頂き、ミサンガを作りました。このミサンガは、家の光7月号で東日本大震災の被災地へ義援金を寄付する事を目的とし特集され、私たち女性部も寄付に協力しようと呼びかけ部員1人に1セットずつ購入して頂きました。色とりどりのミサンガを試行錯誤しながら、一生懸命作り、出来上がった物を手首につけたり、ストラップにしたりしました。

今回はたくさん部員の方に参加頂き、ありがとうございました。次年度も皆さんのご意見を頂き、楽しい行事を計画していきたいと思っておりますので、女性部員の皆さんのご参加をお待ちしております。



**平成23年度愛別町
農業青色申告会
税務研修会**

12月6日、本所3階大会議室において、愛別町農業青色申告会の税務研修会が開催されました。

旭川東税務署個人課税第一部門の、井上首席を講師に、「23年度の所得税の改正のあらましと確定申告に係る留意点について」と題し、「今年度は扶養控除等の改正があり、年末調整をする際にも留意願いたい。」との事でした。

また、農業に関する申告の際の注意点等も併せてお話し頂き、大変有意義な研修会となりました。23年度の確定申告の提出期限は、24年3月15日までとなっておりますので、今から少しずつ申告事務を進めていきましょ。





**愛別町農業者年金協議会
代議委員会及び
農業者年金研修会開催**

愛別町農業者年金協議会（代表中嶋秀明会長）は、12月12日JA上川中央本所3階大会議室において、平成22年度愛別町農業者年金代議委員会が開催されました。

平成22年度事業報告、平成23年度事業計画について原案通り可決承認されました。

午後2時からはJA北海道中央会の竹内氏を講師に招き、新旧農業者年金についてとてもわかりやすく解説を頂きました。

まだ未加入の農業者の皆さんも老後の備えのため加入しましょう。詳しくは、JAへお問い合わせ下さい。

役員視察研修報告

11月20日より11月23日まで3泊4日で四国方面へ視察研修を致しましたので報告致します。

◎JA兵庫六甲のめぐみ（兵庫）

●JA兵庫六甲農畜産物直売所

売場面積 800㎡ JA兵庫六甲の中でも最大級を誇る直売所で年間80万人を超える来場者となり連日大賑わいとのこと。

店内には、約700軒の農家が米をはじめ新鮮な野菜や果物を店頭に並べられるとのこと。地元にごったわった神戸産の牛肉、神戸産のワイン、米やパン、加工品がずらりと並んでおりその食料商品の多さには驚きました。

また、粉殻燻炭や稲藁なども袋詰めされ店頭にも並び売れ行きは上々のようでした。視察当日も店内は大賑わいでした。

◎天空の郷「本山農業公社」（高知県）

高知県本山町は山間地域で町全体で森林率90%、海拔250m～850mで水田は殆ど棚田が中心で水稻を生産しております。本山町は高齢化率が高く41%となっております。

このような中、農地（棚田）保全、環境保全、景観保全、地域保全を図り特産品ブランドを育成するため町90%、JA10%を出資し本山農業公社を設立し、公社を核とした農業生産振興を実践。

農業公社の業務は、米生産販売、育苗生産、作業受託（田植え、収穫、各管理作業）を行う。

年金友の会ゲートボール大会

第26回愛別地区年金友の会ゲートボール大会が12月17日、愛別町農村環境改善センターにて開催されました。昨年に引き続き上川地区の会員の参加もあり、抽選によるチーム編成での大会開催となりました。

総勢26名が参加し、熱戦が繰り広げられ、見事えのきチームが優勝となりました。

優勝 えのきチーム（田上信、西尾義和、妻鳥ミチ子、澤田勝子、須賀茂昌）

準優勝 しめじチーム（沢勇吉、西尾勝子、小田綱子、柴田政春、中嶋富子、鞠古きよ子）

三位 しいたけチーム（小沢克司、鈴木保子、佐藤正一、山本住子、山中節子）



水稻栽培品種は、ヒノヒカリ・にこまるで平成22年度の「お米日本一コンテスト」で日本一に輝き「西の魚沼産」と賞賛され、天空の郷のブランド名（タンパク6.6%以下）で販売されています。

また、生産者全てエコファーマーの認定を受けております。

販売はJAを通じて全量が小売店直結で販売され玄米価格も28,000円/俵と一般米の2倍の価格となっております

本年産より「白雲の彼方」プレミアム米（タンパク6.6%以下）を販売開始。

米の選別は1.9mmを使用し網下（1.7、1.8）は茶粥などの加工品として販売。

栽培にあたっては室戸海洋深層水を散布して米の美味しさを追及した差別化生産を行っています。

土づくりとして土壌診断から始まり徹底した栽培生産基準により、恵まれた環境条件でない産地ながら良品質、良食味米生産に取組んでいる農業公社及び生産者の活動について研修を受け、今後のJA上川中央の農業振興、地域再生の一助となりました。

以上報告致します。



**平成23年度第2回役員委員会
コンプライアンス研修会**

12月3日、上川町層雲峡の層雲峡温泉ホテル大雪において、JA上川中央全役職員を対象にコンプライアンス研修会を開催しました。

研修会ではJA北海道中央会旭川支所 次長 沼田光弘氏を講師に、「TPP交渉をめぐる情勢と対応について」をテーマに①TPP交渉とは？②TPPが我が国に及ぼす農業への影響③様々な分野に及ぶTPPの影響④TPPと国際化にどう対応するか？をわかりやすく解説して頂きました。



今月の顔

ほし 星
はじめ 肇 さん

現住所 愛別町字愛別2区
生年月日 S60年3月19日
出身地 愛別町
趣味 犬・猫と遊ぶこと、TVゲーム、ドライブ
家族構成 妻・息子（4ヶ月）



○農業をしようと思ったきっかけ

家庭環境が良かったからだと思います。農業自体も好きでしたし、高校生の時、家の周りの土地や祖父や父が仕事をしているところを眺め、仕事をする場所が近くにあるという素晴らしさに、祖父や父が体を張って開拓した土地を使えるものなら使い続けたいと思ったからです。



○農業をしてみて思ったこと

勉強と工夫を常にしていかないと苦勞ばかりすると感じました。しかし、努力したらした分だけ必ず役に立つと思いました。

○本人から一言

これからも妻と子供のためにも精一杯農業を頑張っていきます。

持続的な農業経営の

実現をめざし

営農販売課/葛西 理明



年末・年始に、生産実績の検討、資材や労働力の調達・割り振りがうまくいったか、作業が適期に行うことができたか等を検証しましょう。

(図) 実績管理

- 作目選択は間違いなかったか
- 部門別の規模・集約度は適正だったか
- 生産技術は適切だったか
- 目標の収益所得は達成したか
- これを数値で確認するには、

- ① 生産資材 資材受払簿（購買記録）、疾病記録、自家資材記録
- ② 作業・労働力 作業記録、労働時間記録簿
- ③ 生産物 生産物受払・販売記録簿
- ④ 資金 資金受払簿、資金運用記録が必要

【分析・診断】

実績に基づいて、計画の達成状況の評価と経営の分析と診断を行います。

(図) 経営分析・診断

- 財務諸表を用いた分析診断
- 比較分析と診断
- 時系列分析
- 生産技術診断表を用いた診断

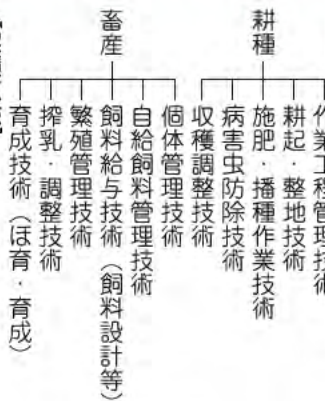
【新たな計画の作成】

TPP問題や農政の変化、需給動向等の経営努力では克服できない問題が山積しております。

新しい年を迎え、気持ちを新たに、まずは、経営実績の分析・点検を踏まえ、より戦略的な経営展開と経営費用のさらなる圧縮との調和の可能性を探りながら、平成二十四年の営農構想を練ってまいります。

【実績点検】

農作業が一段落した時期、あるいは



「実行と記録」
計画を作っても、きちんと実行しなければ絵に描いた餅です。と同時に、記録を残さなければ、比較・評価・課題の検討もできません。
また、中間点検により、「何が良く」「何が悪かった」かを確実に把握し、今できることは、今実行しなければなりません。
農業は、多いようでも四十回位の繰返ししかできません。日々の結果を大切に、改善向上を心掛けなければ、「あ」とき〇〇をしていレベル、「〇〇をしなかつたら」などの後悔と借金だけが残ります。
肥料や農薬等の資材投入状況や労働時間・役割分担の状況等と同時に、技術の管理、生産量と販売量等の把握も大切です。これらの項目は、計数的に把握することが大切であり、そのためには計数的な記録と簿記では残らない資材や生産物の受払、作業記録、営農日誌などの記録を面倒でも行いましょう。
(図) 生産技術管理(主なもの)

～組合員資格の確認について～

平素より、当組合の事業運営にご理解・ご協力・ご利用を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成23年2月に「農業協同組合等向けの総合的な監督指針」が施行され、組合員の資格確認が必須となり、併せて当組合の定款第15条（資格変動の申出）により組合員資格に変動等があった場合は、その旨を届けていただくこととなっております。

つきましては、組合員資格区分・住所・氏名・勤務地等に変更・修正があった場合は、お手数ではございますが当組合本所または支所にて手続きをお願い申し上げます。

なお、当組合の地区内とは、愛別町・上川町の区域となっております、組合員資格はつぎのとおりとなっております。

正組合員資格

1. 50アール以上の土地を耕作する農民で、その耕作する土地又は住所がこの組合の地区内にあるもの
2. 1年のうち90日以上農業に従事する農民で、その住所がこの組合の地区内にあるもの
3. 農業を営む法人（その常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く。）であって、その事務所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

※農用地利用改善事業実施団体の構成員に係る組合員資格の特例

農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用改善事業実施団体の構成員であるもののうち、当該利用権の設定前に又は設定後遅滞なくこの組合に申出をし、理事会において確認を受けたものは、引き続きこの組合の正組合員とする。

准組合員資格

1. 当組合の地区内に住所があり、当組合の事業を利用することが適当と認められる個人
2. 勤務地が当組合の地区内にあり、資金の借入、貯金・定期積金、生産資材・生活物資の購入、共済加入のいずれかを1年以上継続利用する個人
3. 住所が当組合の地区外にあり、生産資材・生活物資の購入、生産する物資の運搬・加工・貯蔵・販売又は特定農地貸付のいずれかを1年以上継続利用する個人
4. この組合の地区の全部又は一部を地区とする農業協同組合
5. 農用地利用改善事業を行う団体であって、この組合の施設を利用することが適当であると認められるもの
6. 農事組合法人等この組合の地区内に住所を有する団体であって、この組合の施設を利用することが適当であると認められるもの

正組合員・准組合員資格のいずれにも該当しない場合は、申し出が必要となりますので、本人確認が出来る公的書類（住民票・運転免許証・健康保険証等）・印鑑を持参の上、本所総務課または支所管理係までお越し頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《 問い合わせ先 》

上川中央農業協同組合 本所総務課 01658-6-5311
支所管理課 01658-2-1111



がん共済

1. すべてのがんを一生涯保証!
2. 上皮内がん・脳腫瘍も保証!
3. 掛け捨てではありません!

<ご契約例>

■男性・25歳加入 ■掛金の60歳払終了(口座振替) ■がん入院共済金日額10,000円の場合

「年払」掛金 40,768円

この共済の対象となる「がん」は、悪性新生物(上皮内新生物を含む)および脳腫瘍です。
がん退院後療養共済金について、退院後20日以内にがん再発入院された場合、その入院にかかるがん入院共済金は所定の額を差し引いてお支払いします。

25歳加入

共済掛金払込期間

60歳払込終了

加入時の掛金は上がりません。

がんと診断されたとき
〈がん診断共済金〉

100万円

がんを診断確定された場合、がん診断共済金をお受取りになれます(共済期間を通じて1回のみ)。

1日目から無制限

入院のとき
〈がん入院共済金〉

1日あたり **10,000円**

がん入院された場合に、がん入院共済金を1日目からお受取りになれます。また、入院にかかる支払限度はありません。

何回でも

手術のとき
〈がん手術共済金〉

1回あたり **10・20・40万円**

がんの治療を目的とした手術について、手術の種類に応じてがん手術共済金をお受取りになれます。
※一部の手術を除きます。

何回でも

退院後の療養には
〈がん退院後療養共済金〉

20万円

がんによる入院を継続して20日以上された後、生存して退院された場合に、がん退院後療養共済金をお受取りになれます。

がんで死亡のときは
〈がん死亡共済金〉

100万円

がんを直接の原因として死亡された場合に、がん死亡共済金をお受取りになれます。

がん以外で死亡のときは
〈死亡給付金〉

10万円

がん以外の原因により死亡された場合に、死亡給付金をお受取りになれます。

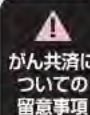
一生涯保障します

共済掛金払込終了年齢

共済掛金の払込終了年齢を選択できます。

60歳 65歳
80歳 終身

※加入年齢によって選択できない場合があります。



がん共済についての留意事項

がんに関する保障の開始は、ご契約日からその日を含めて90日を経過した日の翌日からとなります。これより前に悪性新生物または脳腫瘍と診断確定された場合には、ご契約は無効とし、共済金はお支払いいたしません。
がん以外で死亡のときのお支払い、共済掛金の払込免除についてはご契約日から保障いたします。

掛け捨てではありません!

〈解約返戻金〉積立資金〈解約返戻金〉をご活用いただけます。

単位：千円

解約時 年齢	40歳	50歳	60歳 払込終了	70歳	80歳
共済掛金 累計	652	1,059	1,426	1,426	1,426
解約 返戻金 (返戻率)	627 (96%)	1,059 (102%)	1,508 (105%)	1,443 (101%)	1,226 (85%)

(千円未満切捨て)

※口座振替掛金

※共済掛金・解約返戻金は、性別・年齢等により異なります。

※返戻率=解約返戻金/共済掛金累計×100(小数点以下切捨て)

※解約返戻金の表示金額は、各共済年度の末日に解約等を行った場合の数値です。実際の金額は、解約等を行った時期により変動しますので、ご注意ください。

お問い合わせは

JA上川中央

本所 (01658) 6-5312
支所 (01658) 2-1111



この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧下さい。また、ご契約の際は、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧下さい。 11011415051

今月のあなたの運勢

<p>♈ 牡羊座 3/21 ~ 4/19</p> <p>【全体運】思うようにならないことが多い月。でも、忍耐力を養えば、運氣上昇の呼び水に。伝統芸能に触れ、気分転換を 【健康運】胃腸系のトラブルに気を付け、節制して 【幸運を呼ぶ食べ物】伊予カン</p>	<p>♉ 牡牛座 4/20 ~ 5/20</p> <p>【全体運】心身共に充実している時期。やってみたいことには、どんどんチャレンジしてみて。スポーツを始めるのも吉 【健康運】ベストコンディションをキープできそう 【幸運を呼ぶ食べ物】ブリ</p>	<p>♊ 双子座 5/21 ~ 6/21</p> <p>【全体運】マイナスの発想をしやすいようです。意識的にポジティブシンキングを心掛けて。神社や寺院の散策につきあり 【健康運】オーバーワークは×。十分な休養が大事 【幸運を呼ぶ食べ物】黒豆</p>	<p>♋ 蟹座 6/22 ~ 7/22</p> <p>【全体運】気楽になり過ぎたり、不安に陥ったり、考え方が両極端になりがち。信頼できる人の助言に耳を傾けて冷静に 【健康運】軽く体を動かすとリフレッシュ効果大 【幸運を呼ぶ食べ物】生和菓子</p>
<p>♌ 獅子座 7/23 ~ 8/22</p> <p>【全体運】珍しく神経質になりやすい傾向がチラリ。持ち前の大らかさを大切に。玄関に花を飾り、幸運を引き寄せて 【健康運】ストレス解消には軽いウォーキングが◎ 【幸運を呼ぶ食べ物】お雑煮</p>	<p>♍ 乙女座 8/23 ~ 9/22</p> <p>【全体運】レジャー運が活性化。初詣や新年会などに意欲的に出掛ければ、得るものあり。創作活動に励むのもお勧め 【健康運】疲労をため込まないよう、睡眠は十分に 【幸運を呼ぶ食べ物】だて巻き</p>	<p>♎ 天秤座 9/23 ~ 10/23</p> <p>【全体運】取るに足らないことで感情的になりやすいので、冷静な対応を忘れずに。心をリラックスさせるには日記を書く効果的 【健康運】早寝早起きをすれば、次第に好影響あり 【幸運を呼ぶ食べ物】かまぼこ</p>	<p>♏ 蠍座 10/24 ~ 11/22</p> <p>【全体運】好奇心が旺盛になり、さまざまな分野に興味を抱きそう。やってみたいことに挑戦して。最新映画の観賞も正解 【健康運】ヨガや気功で血行促進を図るとグッド 【幸運を呼ぶ食べ物】きんとん</p>
<p>♐ 射手座 11/23 ~ 12/21</p> <p>【全体運】のんびり過ごせる期間です。やるべき作業を終えたら、プライベートの充実に励んで。お茶に凝るのもラッキー 【健康運】自分の時間を持つことで体調に好影響が 【幸運を呼ぶ食べ物】昆布巻き</p>	<p>♑ 山羊座 12/22 ~ 1/19</p> <p>【全体運】何事にも前向きに取り組めるはず。未経験のこともやってみると手応えあり。グルメを楽しむのも大賛成！ 【健康運】体調に恵まれアクティブに過ごせそう 【幸運を呼ぶ食べ物】ヒラメ</p>	<p>♒ 水瓶座 1/20 ~ 2/18</p> <p>【全体運】優しい気持ちになれる時期です。周囲に親切にでき、人気運が上昇していく予感。ただ、ケアレスミスには注意 【健康運】運動で新陳代謝の働きを良くすると好転 【幸運を呼ぶ食べ物】カズノコ</p>	<p>♓ 魚座 2/19 ~ 3/20</p> <p>【全体運】人間関係が広がりを見せる気配。新年会など、集まりには気軽に顔を出してみ。習い事を始めるのも刺激に 【健康運】バスタイムを満喫し、疲労を取り去って 【幸運を呼ぶ食べ物】シュンギク</p>

まちがいさがし

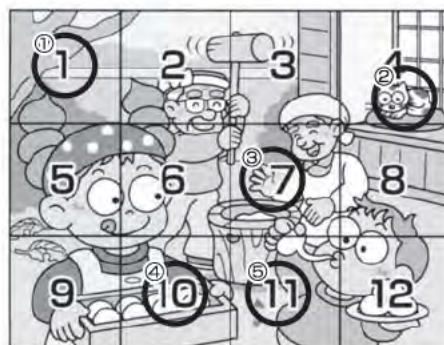
右のイラストには左のイラストと違う部分があります。間違っている部分を探しましょう。

出題・イラスト●酒井栄子



解答は2月号に掲載します。

12月号の解答



- ① 葉っぱが舞っていない
- ② 猫が起きている
- ③ しゃもじを持っていない
- ④ 団子がない
- ⑤ おなかが膨れている

JAのあゆみ
12月

- 2日 第3回元氣な食をいただきますinあいべつ
愛別地区国営農地緊急再編整備事業促進期成会役員会
農協懇談会(畑作園芸組織)
- 3日 JA女性部上川支部 料理ミサンガ作成講習会
農家経済対策委員会
役員コンプライアンス研修会
- 5日 JA監事監査 9日
愛別町農業青色申告会税務研修会
- 6日 愛別町農業者年金協議会代議員会・研修会
- 12日 愛別町農業者年金協議会代議員会・研修会
- 15日 第11回理事会
- 17日 愛別地区年金友の会ゲートホール大会
- 20日 愛別町関係機関農政懇談会
- 21日 農家経済対策委員会
- 22日 愛別町農業青色申告会年末調整説明会
- 26日 農協懇談会愛別地区(畜産)上川町との懇談会
- 27日 第5回臨時理事会
- 30日 業務終了
(Aコープ、給油所を除く)
- 31日 業務終了
(Aコープ、給油所)

理事会報告
第10回

- 報告事項
- 1、組合員の加入・相続・脱退並びに資格変更の報告について
 - 2、平成23年度第3四半期収支見直し計画の策定について
 - 3、与信取引に関する利用者への説明態勢にかかる規則の改正について
 - 4、平成23年度JA共済コンプライアンス点検に基づく改善結果の報告について
 - 5、内部審査協議会監査報告について
 - 6、各種委員会の報告について
 - 7、両町行政に対する要望意見書について
 - 8、固定資産の取得について
- 議事
- 1、要領の制定について
 - 2、短期資金の融資について
 - 3、理事に対する短期資金の融資について
 - 4、年末手当の支給について
 - 5、農事組合活動助成金等の支出について

組合員のうごき

(平成23年11月25日現在)

正組合員戸数	408戸
組合員数	2,647名
うち正組合員数	588名
うち正団体数	36団体
うち准組合員数	1,952名
うち准団体数	71団体

JA女性部 宿泊研修のご案内

JA女性部では、愛別支部・上川支部合同での宿泊研修を行います。
多数の部員のご参加をお待ちしております。

日程：平成24年2月6日(月)～7日(火)
場所：旭川市「森のゆ ホテル花神楽」
申込期日：平成24年1月20日(金)

※詳しくはJA女性部担当までお問い合わせ下さい。
お問い合わせ先 愛別支部 6-5315
上川支部 2-1113



退職

組合員の皆様には大変お世話になり、誠にありがとうございました。

上川支所 営農販売課
半 谷 徳 章
(12月31日付)

農業青年との交流会

愛別町に住んでいる農業青年とお食事会をして楽しいひと時を過ごしませんか?
宿泊先もご用意できますので、参加申込やお問い合わせなど、お気軽にご連絡下さい。

★開催日★
平成24年2月4日(土)～5日(日)の1泊2日

★開催場所★
蓬来亭(本町)、研修館 サンライズ(北町)他

★募集内容★
男性7名、女子7名(男性は、愛別町在住の農業青年に限る)
・おおむね22歳～40歳までの独身者(学生は除く)
・農業に関心のある方
・開催場所まで集合できる方

★お問い合わせ先★
愛別町パートナー対策推進協議会事務局
(愛別町農業委員会事務局)
電話：6-5111(内線227)
メール：sangyoushinkou@town.aibetsu.hokkaido.jp
*お気軽にお申込み下さい。

★申込期限★
平成24年1月19日(木)
*申込み多数の場合は選考させていただく場合がございます。

皆様のご参加をお待ちしております♪